

令和6年度 高志中学校1年 「高志学」福井県立こども歴史文化館研修

- 1 期 日 10月24日(木)
- 2 場 所 福井県立こども歴史文化館
- 3 参加生徒 87名
- 4 報 告

令和6年10月24日(木)に、1年生がこども歴史文化館研修を実施しました。「福井の歴史(とき)」の探究活動の一助とすることを主な目的として実施しました。



はじめに「交流ひろば」で、本校の校名と同じ読みである越国(こしのくに)の説明を聞きました。越国は北陸の古代(飛鳥~平安)の名前で、都や近畿から山を越えたことが由来であること、また越国は、後に律令制に基づき越前、越中、越後に分かれたということを学びました。

「先人のひろば」では、古代から近現代までの福井にゆかりがある人物が取り上げられていました。

「コレクションひろば」では、蓄音機から実際に音を出していただき、音の振動を実際に感じながら

音の鳴る仕組みを知ることができました。

「漢字ワールド」では、漢字の部首などを手に乗せて確かめたり、彫ってある甲骨文字の上に紙をのせ、鉛筆で塗って文字を浮き上がらせたりして、白川文字学の漢字を分かりやすく学びました。

「科学ワールド」では、南部陽一郎先生が少年期を福井で過ごしたことに親近感を持ちながら、物理を大きく進歩させた裏にはたくさんの苦労があったことがわかりました。



特別展では「江戸時代の人気キャラクターヒーローズ2」が展示されていて、江戸時代の人びとが親しんだ物語文化について物語絵巻を用いて紹介していただきました。

今回の研修では、どの場面でも高志学ノートに自分が考えたことや新たに知ったことを詳細に書き込んでいました。色々なコーナーがあり、生徒はたいへん興味をもって研修をすることができました。「とても2時間では十分に見学できず、次回

はゆっくり時間をとって全部を見て回りたい」という前向きな感想が見受けられました。

